

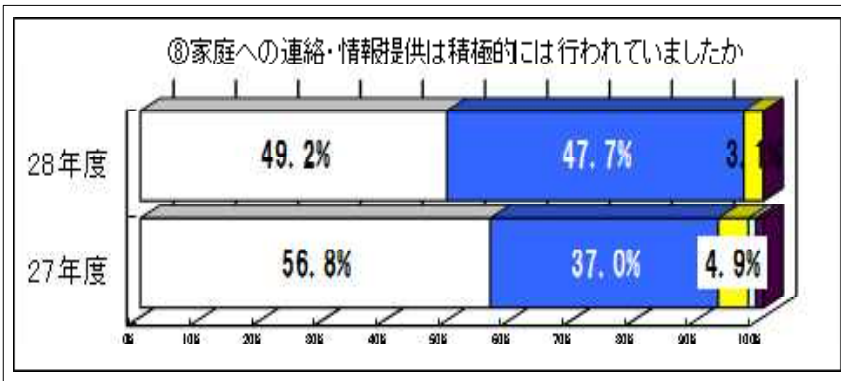


大正っ子

3月も中旬に入り、グラウンドの真っ白に覆っていた雪たちも黒みを帯びて、少しずつ春を迎える準備が進められています。猛威を振るっていたインフルエンザも幾分下火になったように感じますが、引き続き、うがいや手洗いを励行し、予防に努めましょう。
さて、今号では前号に続き、平成28年度『保護者アンケート』の集計結果を中心にお伝えします。

保護者アンケートの集計結果より その2

今回は「保護者から見た学校像」についてです。それぞれの項目について昨年度のものと比較しながらお伝えします。

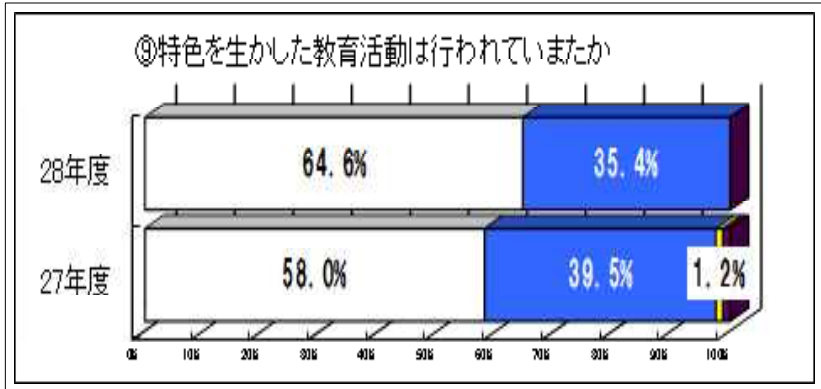


家庭への連絡・情報提供については、「あまり思わない」の割合が減少傾向にあることから、情報提供については、一定の評価をしていただいたと考えます。
学校だよりや学級だよりはもとより、HP（ホームページ）も随時更新するなどタイムリーに子どもたちの様子や学校の取組・方針などをお伝えしてきました。
また、写真やグラフを活用するなどしてわかりやすくお伝えすることをモットーに発行してきましたが、子どもたちの感想や思

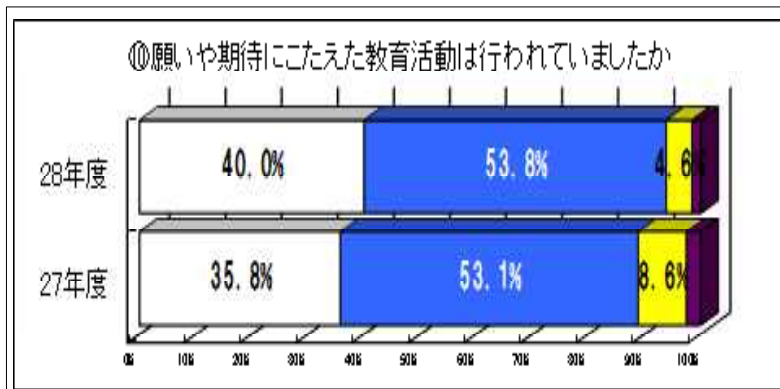
いを紹介しきれなかったなどの課題を残しましたが、次年度も子どもたちの頑張りや様子を中心にタイムリーにお伝えしていきたいと考えています。また、今年度もすぐメールを活用し、迅速で正確な情報をお伝えすることができたと考えております。これも保護者の皆様のご理解とご協力の賜物だと感謝いたします。

***なお、すぐメールは、単年度毎の更新になります。4月になりましたら、あらためて登録をお願いすることになります。**

次に、特色を生かした教育活動は、「とても思う」が、昨年度より高い結果となり、「あまり思わない」の回答がなかったことから、本校らしさや特色を生かした教育活動がこれまで以上に実施できたと考えております。
本校の教育活動の柱は、PTA、家庭・地域と連携した取組にあります。帯広市教育委員会の進める『おびひろっ子支援事業』や『学校支援地域本部事業』等の取組が深まりを見せていると考えています。
今後も保護者・地域の皆様のお力添えをいただきながら子どもに身につけさせたい力を明確にして実施できるよう努めます。



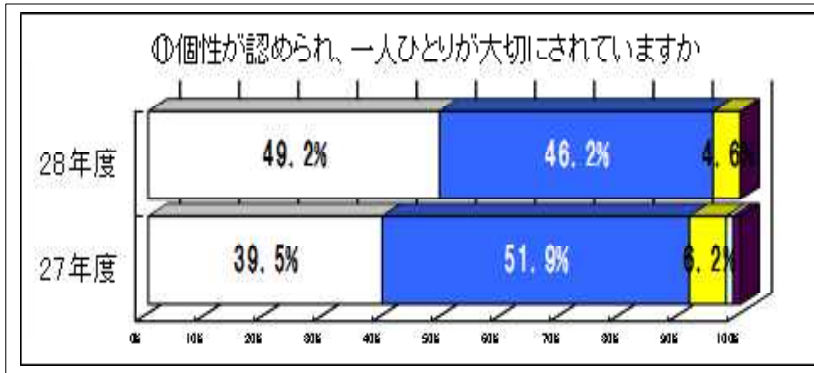
***次年度も今年度以上に学習支援ボランティアとして多くの方々に関わっていただけると大変助かります。**



続いて、保護者の願いや期待に応えた教育活動については、「とても思う」「わりに思う」の割合が増え、「あまり思わない」の回答も減少傾向にあることから、改善におけた取組が成果を見せつつあるものと考えています。
今後も、これまで以上に保護者の皆様の願いを幅広く受け止めていく努力を重ねていきます。昨年度より3回の学校評価アンケートを実施してきましたが、来年度は、実施回数やアンケートの記入の仕方、質問項目などを見直し、より実効性のあるものにしていきたいと考えています。また、アンケートはもとより、あらゆる機会を通して皆様の願いや要望を吸収し、反映できるように努めていきますので、アンケート

に限らず、ご意見・要望等をお聞かせいただければ大変助かります。

裏面に続きます



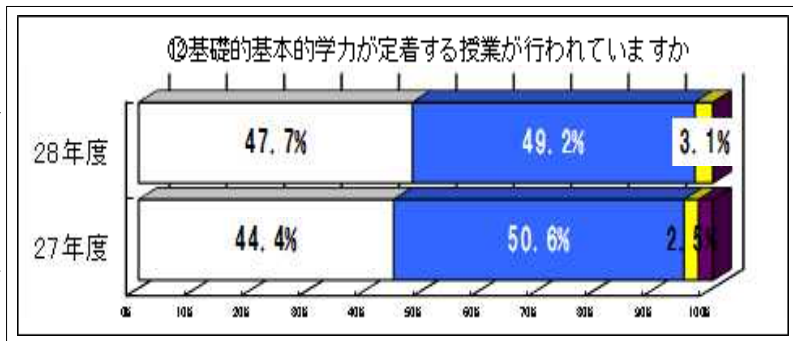
次は、「一人ひとりを大切にされた教育活動」については、昨年度に比べ「とても思う」の割合が増加し、「あまり思わない」が微減、「まったく思わない」の回答がなかったことから少しずつ改善傾向にあると考えています。今後も引き続き、子どもの個性を認める、必要に応じて叱咤激励をするなど、子どもに寄り添った関りを大切にしながら、児童一人ひとりが大切にされていると実感できるよう教育活動を進めていきます。

まずは、子どもたちとの話をきちんと聞くこと、そして「認める」(受容する)という姿勢を維持することを念頭に向き合っていきます。

す。全職員が、全校児童一人ひとりの顔と名前がわかるという恵まれた環境を大切にしていきます。

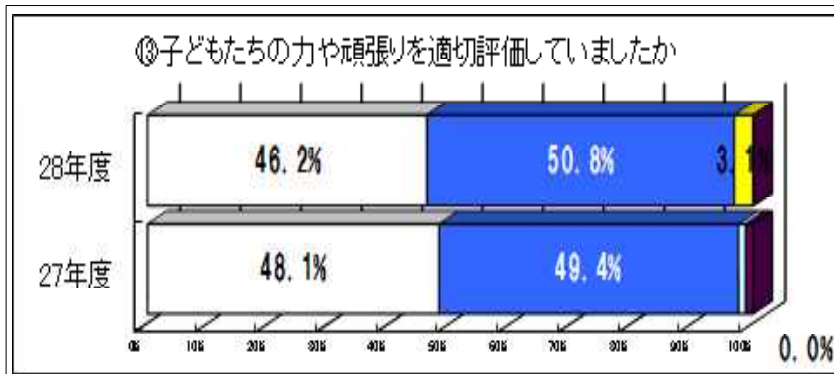
続いて、基礎的基本的学力が定着する授業についてです。「とても思う」「わりに思う」を合わせ、昨年度を上回っています。今後も引き続き、授業改善を進めるために、授業の課題(めあて)とまとめを明確にし、終末での振り返り学習を充実させていきます。

ノート指導の充実や漢字・計算問題の繰り返し学習にもこれまでと同様に力を入れていきます。また、これまででもお願いしております家庭学習の時間の確保や内容の充実を図りながら学力の向上につなげていきたいと考えています。



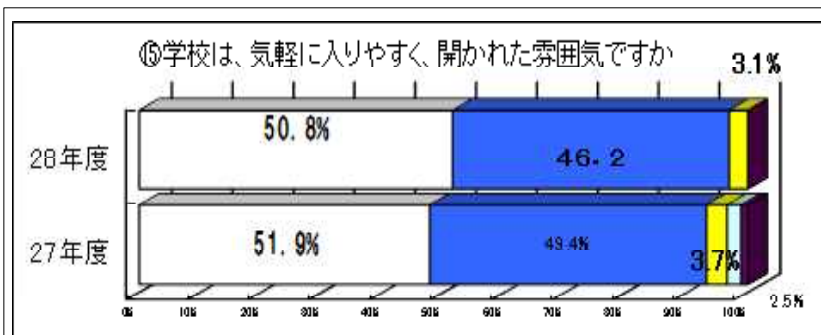
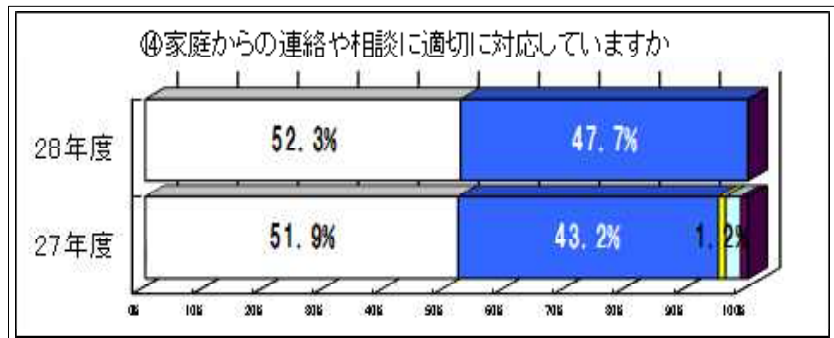
次に、子どもの力や頑張りを適切に評価することについては、「とても思う」の割合は微減し、「わりに思う」の割合が微増しました。また、「まったく思わない」の回答がなかったことから少しずつ改善傾向にあると考えます。今後も、子ども達がこれまで以上に自己有用感や自己肯定感を感じることができるよう日々の声かけや関わり方を大切にしていきます。

子どもの頑張りを肯定的に受け入れ、子どもの自己肯定感を高めることができるようにしていきます。



続いて、家庭からの連絡や相談の対応については、「とても思う」「わりに思う」の割合がともに昨年度を上回る結果となりました。

今後も連絡や相談をいただいた際は、迅速にかつ誠意をもって対応していくように努めていきます。また、一人ひとりの児童の様子に目を配りながら、学校からも連絡や相談を入れさせていただきます。



開かれた雰囲気の学校については、「とても思う」「わりに思う」を合わせた割合は、昨年度を上回る結果となりました。

今後も、教職員一人ひとりが保護者の皆様とのコミュニケーションを大切に、要望や相談などについて気軽に話していただけるような雰囲気づくりに努めます。

また、「学校だより」や「学級通信」などで情報を積極的に発信し、学校としての考えなどをより理解していただけるよう努めていきます。

なお、学校評価のまとめについては、次号で掲載いたします。